

新年のごあいさつ



南越前町長
増澤 善和

新年あけましておめでとございます。
います。

町民の皆様方には、輝かしい新年をご家族お揃いで迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

さて、南越前町が平成十七年一月一日にスタートして、はや二年が経過いたしました。その間、各種事業の実施に際しましては、町民の皆様方の温かいご理解と絶大なご協力を賜りましたことに対しまして、衷心より厚くお礼を申し上げます。

昨年は豪雪、豪雨と大きな災害が頻繁に発生した大変な一年でありましたが、そのような中でも着実に各種事業の遂行を図ることができましたことに対しまして、重ねて心よりお礼を申し上げます。

ことに起因して、自主財源が乏しく、国や県に頼らざるをえない我が町のような小さな自治体の財源は、なかなか好転していかないのが現実であると思われまます。

このように、非常に厳しい状況下ではありますが、今年一年、地方自治の最大の目標であります地域の発展と福祉の向上を推進するため、施設の民営化を始めとし、役場職員一丸となって、人件費を始めとする経常的な経費の削減に努め、財政状況が少しでも好転するよう、全身全霊をこめて、この難局を乗り越えていかなければならない、このようにあらためて決意を新たにしているところであります。

地方にとりまして非常に厳しい時代ではありますが、なにとぞ、今後ともなお一層のご指導、ご鞭撻、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、町民の皆様方の今年一年のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます、新年のあいさつといたします。



年頭にあたり



南越前町議会議員
西嶋 久夫

新年あけましておめでとございます。
います。

町民の皆様には、それぞれの思いを胸に平成十九年の新春を迎えられたこととお慶び申し上げますと共に、日ごろから議会に対し温かいご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

昨年を顧みるに豪雪・豪雨と異常な気象が続ぎ、山林を始め建物、道路など各地に大きな災害がもたらされました。国においては、三位一体の改革を始め、さまざまな改革、国際情勢においては、北朝鮮の問題など課題を抱えた中、安倍新政内閣が誕生いたしました。

私も議会も合併後在任特例期間の満了に伴い初の町議会議員選挙が実施され、十八名の議員誕生

のもと五月より新たにまちづくりのスタートを切りまして八カ月が経過いたしましたところであります。平成の大合併で県下早々に新しいまちづくりの一步を力強く踏み出して早くも三年目を迎えたわけです。その当時私も合併をしたならば少しは財政も安定するのでは、と希望を持ったところでした。しかし、年々地方への財政的支援は縮小され地方交付税にいたっては、極端に縮減されました。自主財源の少ない当町では、財政の面においては極めて厳しいものとなっております。

地方では景気回復は足踏み状態でありませんが、今年こそは景気の回復を願い、合わせて町民各位のご多幸をお祈り申し上げます、新年のあいさつといたします。

